

津軽白神

ふれあい通信

津軽白神森林生態系
保全センター

平成26年4月発行 No.95



弘前市東目屋から見る白神山地

十二湖山開き



吉田深浦町長からの挨拶

4月17日（木）、青森県、深浦町、地元企業などの多くの関係者が参加して、春の幕開けを告げる十二湖の山開きが行われました。

山開きに先立ち、シーズン中の無事故を祈念して神事が執り行われ、その後式典に入りました。

式典では主催者を代表して吉田深浦町長から「昨シーズンは白神山地世界遺産登録20周年事業が各地で開催されていたが、深浦町では昨年度に引き続き白神山地をより一層PRして参りたい。また、今年度から十二湖が森林セラピー基地として認定されるので、それに向けた事業を展開し、多くの誘客をはかりたい」との挨拶があり、続いて来賓からの祝辞がありました。

式典の後は、参加者一同で青池までの散策を行いました。この日の青池は、澄んだ空の青を映してかより一層湖面の

青が映え、神秘的な雰囲気醸し出していました。

当センターでは、今年度も一般の参加者を募って十二湖の散策を計画しています。

ニホンジカの生息調査を実施します。

近年、全国的にニホンジカによる植物の食害が広がりを見せており、昨年は西目屋村の大秋地区で二頭のニホンジカ（♂）がセンサーカメラで撮影されました。

この地域は、白神山地世界自然遺産地域までほど近く、遺産地域にシカが進入して繁殖した場合、食害によって遺産地域内の生態系バランスが崩れ、ブナをはじめとする原生的な森林の生態系が脅かされることとなります。

当センターにおいては今年度より、ニホンジカが管内にどの程度侵入しているかの調査を実施することとして、新たに定点カメラを設置します。

平成26年4月1日付け人事異動

お世話になりました。

細川 齊 所長 → (独) 林木育種センター東北育種場 遺伝資源管理課長
川村 幸春 生態系管理指導官 → 定年退職 (再任用・行政専門員)

よろしく願います。

石田 和彦 所長 ← 下北森林管理署 次長
久保 翔太郎 一般職員 ← 米代東部森林管理署 上小阿仁支署

着任にあたって

津軽白神森林生態系保全センター所長

石田 和彦

日頃より、津軽白神森林生態系保全センターの諸活動にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

4月1日付けで津軽白神森林生態系保全センター所長を拝命しました石田です。

よろしく願います。

また、前任地の下北森林管理署の業務運営にあたっては皆様から数々のご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、本年度の白神山地世界遺産保全地域の保全管理にあたっては、昨年10月に策定・公表された新しい「白神山地世界遺産地域管理計画」に沿って、保全・管理を進めることとしていますが特に、ニホンジカ対策については遺産地域周辺を含めて目撃情報の収集や定点カメラによる調査を実施するなど当センターにおいても遺産地域の保全管理業務を担って参ります。

そのほか「自然再生マップ」に基づいた自然再生活動や森林環境教育、森づくり等を行う市民団体等への支援・協力についても継続して行きます。

これら当センターの諸活動が、白神山地世界遺産地域の保全・管理のみならず「森林・林業」への理解の一助となれば幸いです。

なお、活動にあたっては市民団体、地域住民等の合意形成を図りつつ、地域から頼りにされ評価される「津軽白神森林生態系保全センター」を心がけ職員一丸となり、積極的な諸活動を展開する所存です。

最後になりましたが、当センターの活動は多くの地域住民、ボランティア団体、教育関係者、企業、森林・林業に携わられている方々等、これまで地域を支えてこられた数多くの皆様のご協力とご支援なくしては成り立ちません。

これまでと同様に当センターへのご支援とご協力をお願い申し上げます着任の挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

着任の挨拶

久保 翔太郎

平成26年4月1日付けで、当センターに着任した久保です。

岩手出身の21歳です。

趣味は登山で、冬期間積雪で山歩きが出来なかった分、この時期を待ち遠しく感じていました。

また、当センターではイベントなどで自然の中を散策したり、白神山地の雄大な風景の中で仕事が出来ると聞いて楽しみにしています。

今後ともよろしくお願いいたします。

森林教室を開催します。

今年度最初のイベント、森林教室を下記により深浦町十二湖自然休養林で開催します。皆様の参加をお待ちしております。

記

- 1 日 時 平成26年5月24日（土）
- 2 募集人員 **抽選により30名**
- 3 集合場所 青森市役所柳川庁舎前（午前7：00）
- 4 参加費 一人200円（傷害保険料として）
- 5 その他 昼食・雨具を持参

なお、今年度よりイベントの参加者は**抽選方式**で決定いたします。

申し込み受付は**4月24日（木）から5月9日（金）**の期間中に、葉書、電話、FAXでお申し込みください。

春の草花が咲き始めています。



西目屋村からの八甲田連峰(4/1)

4月1日。この日は澄み切った快晴の一日だったので、管内一円に写真撮影に出かけました。

天候にも恵まれ、普段は目にすることの無い美しい風景などをカメラに納めることができました。

普段は白神山地方面ばかりを気にかけて管内を巡回していますが、この日はたまたま西目屋地区から八甲田連峰がきれいに見えていたので写真に納めました。

空気の澄んだこの時期ならではの風景です。

また、深浦町大間越の福寿草公園にも足を伸ばしてみました。3月の下旬とは打って変わって、多くのフクジュソウの株が花を咲かせていました。



一角にはシロバナキクザキイチゲの花も咲き始めていました。

二週間後の4月14日も好天に恵まれたため、管内一円の状況を確認に出かけました。

この日も、雪を頂いた白神山地の山頂付近が遠方からも望まれ、深浦町沢辺の駐車場付近や、森山海岸などの海辺からは、海や空の青と雪を頂いた山頂の白とのコントラストが美しく見えていました。



またこの日は、キクザキイチゲやカタクリも満開となり、遅咲きのフクジュソウとともに私たちを迎えてくれました。



津軽地方は、これから春本番となります。



今年度4月1日付けの異動により所長が交代し、また新たに若手の職員も配属され、当センターの体制も一新しました。

今後の催し物や行事などの際には、いままで以上に、より一層充実した取り組みができると考えております。

また、今年度も森林教室や自然再生活動のイベントを計画しておりますので、皆様の参加を心よりお待ちしております。

今年度もまた、昨年度同様によりしくお願いいたします。

津軽白神森林生態系保全センターホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/tugarusirakami/index.html>